

未来へ夢を育む学校



学校だより

7月号 学校長 右橋 康彦



「みんなでつくる白幡小学校」

創立90周年を迎えた今年、改めて感じていることがあります。それは、学校は子どもたちと教職員だけでつくるものではないということです。保護者・地域の皆様、PTAや後援会の皆様、町内会の皆様、そして白幡小学校を思い、力を貸してくださる多くの方々に支えられながら、一つの学校がつけられている、そのことを、この90周年事業を通して何度も実感しています。

6月24日の創立記念式では、90周年運営委員会の子どもたちが学校の歴史に関するクイズを担当しました。自分たちの学校の歴史を楽しみながら学び、全校で90周年を祝う温かな時間となりました。式の中で子どもたちに昔の白幡小学校の話をしました。学校の前には小さな川が流れていたことや校舎が木造だったことなどです。90年という長い年月の中で、学校の姿は大きく変わってきました。しかし、友達と仲良く過ごし、互いに協力しながら成長していこうとする子どもたちの思いは、今も昔も変わりません。形は変わっても、大切なものは受け継がれています。その思いを、これからも子どもたちにつないでいきたいと思っています。

今年の90周年事業の大きな取組が「シラハタ音頭」です。「地域の皆さんも子どもたちも一緒に踊れる音頭をつくりたい。」そんな90周年実行委員会の思いから始まりました。

音楽家であるGIRA MUNDOさんによる校歌の編曲、子どもたちによる歌の録音、そして振付師の中屋敷 南さんと「シラハタ音頭実行委員」の子どもたちによる振り付けづくりへとつながりました。私が何よりうれしかったのは、その過程で見られた子どもたちの成長です。最初は恥ずかしそうにしていた子どもたちが、話し合いを重ねるうちに、「こんな動きはどうか。」と自分の考えを伝えられるようになり、自分たちのアイデアが形になっていく喜びを味わっていました。休み時間には教職員も加わり、一緒に笑顔で踊る姿が見られました。中屋敷 南さんは、「子どもたちと一緒にすることで、自分自身も成長させてもらいました。」と話してくださいました。この言葉が、とても印象に残っています。教育とは、大人が子どもに教えるだけではなく、大人も子どもから学び、ともに育っていく営みなのだと改めて感じました。校内ではシラハタ音頭を口ずさむ子どもたちの姿も見られ、新しい伝統が少しずつ子どもたちのものになり始めています。シラハタ音頭には、90周年スローガン「つながる ひろがる 笑顔になる」の思いが込められています。握手を交わし、手を広げ、笑顔になり、腕を組み合う。一つ一つの動きが、人とのつながりや協力することの大切さを表しています。また、本校後援会の皆様には、「ハタ丸」と各自治町内会の地図を取り入れた応援旗も制作していただきました。地域の皆様が子どもたちを温かく見守ってくださる思いに、心より感謝申し上げます。

11月14日の創立90周年記念式典では、全校の子どもたちがシラハタ音頭をみんなで踊ることを目標に準備を進めています。この音頭が白幡小学校と地域を結ぶ新しい伝統として受け継がれていくことを願っています。そして何より、この取組を通して子どもたちが感じた「みんなで力を合わせれば、一人ではできないことも形にできる」という喜びが、白幡小学校の伝統として未来へ受け継がれていくことを心から願っています。



◆学校の教育活動の様子については、学校ホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shirahata/>

二次元コードはこちらから→

